

刊夕 日五月八



定価 一部全紙、一月五拾銭、郵税五拾銭
廣告料 五拾二文字一頁、一行五拾銭
日曜日の翌日休刊
発行所 東京市神田区本町三丁目三番
電話 六三〇〇
印刷所 東京市神田区本町三丁目三番
電話 六三〇〇

深慮と膽力

山里 尚行

回顧すれば今より七十年前、ペルリイは、現代に較ぶれば甚だ不完全なる小船を海洋遠く走らせて東洋を隈なく視察し、千辛萬苦を重ね、自から東洋の實感に觸れ精細なる老査を遂げて歸國するや、「東洋に於ける米國通商擴張の促進に關する方策」と題し、堂々たる大論文を米國政府へ提出しました。其結論に於て「東洋通商經濟の牛耳る執るには臺灣島を撰み、米國の東洋殖民地となし基隆に要塞を築造し、之を開放して商港となし、東洋の覇權を握るにあり」と云ふのであります。此金科玉條の論文を手にしながら、何故米國は其方策を直ちに實行せざりしや、我敷島を神洲と稱ふるも亦故なきにあらざるを頷かれます。

元來米國は廣大なる沃野を有し歐洲へ農産物を輸出する農業國なりしが、國內の石炭を開發するに及びて大工業國と化しました。然るに歐洲は元より工業國なれば米國の輸出額は漸減するに至り、俄かに狼狽して世界を隈なく熟視すれば五億の民を有する東洋の亞細

亞に着眼せざるを得ぬ次第でありました。さてはとばかりに、思ひ起してペルリイの古文書を取り出し繰り返し巻返して見れば、事實に違し、日清の戦ひ終つて臺灣島は公然日本の領有に歸し、露國の東漸策に其出鼻を挫かれて日露戦役も終りを告げんとする時でした。其時に於ける國內の輿論を押し切り己れの危言を覺悟し世界の大局を熟知して親和條約を結びし井伊大老の深慮と其膽力も亦、吾人に大なる教訓を與へ、敬仰の念禁ずる能はざるものがあります。今や隆々たる臺灣島の姿と對比して支那の現状を想ふの時、何時の世にも井伊大老の在らんことを希ひ日本人のペルリイをらんことを切望し、轉た其念を深ふします。吾人が日常の小なる事共にさへ深慮なくしては失敗のみ重ね、膽力なくては人後に墮ち、況んや國家の結論、民族の擁護に於てをやです。されば吾人は其膽力を鍊り深慮を研磨し其遺風を子孫に傳へ以て國の寶となす可きです。内田良平翁は左の一首を示されました。

老の阪猶ほふみ越へて尋ねみん、咲きつゝく花のありやなしや
と之を以て私の此の稿を終りと致します。

●お新益提灯に御注意!!!
近年各地に於て再製提灯が市場出る爲めお贈りの方も頂いた方も誠に迷惑され又失禮にもなりますので製造者の間で相談の上今年の品物へは必ず昭和十年製の赤色マークを入れてあります。御買求めの際は必ず御忘れなく昭和十年製マーク入と御指命下さい。
昭和十年七月
提灯同業組合

御位牌と品よく
佛壇佛具 安
平新川町
橋本屋
電話一六三

増車御披露
陸の王者として定評ある流線型ダッチブラザース二輛増車致しました。タクシーの御使用の際は新車揃の尼子タクシーに御用命を御待致して居ります。大型貸切専門車も御座います。
尼子タクシー
電話六四〇

新益用佛壇具ト位牌ハ
山光堂佛具店へ
平四丁目局前
造花博士 花信
電話五五〇番
祖先崇拜ハ家庭繁榮ノ礎!!!

藥局開設報告
東京銀座伊東屋特製フランス人形店頭で御目見得致します。何卒御覽下さい。店舗改築中大層皆様に御不自由を相懸けました。が愈々出来上りました。八月より諸大しき藥局となりました。來る八月より諸大醫處方箋調劑の御相手を仕りますれば何卒皆様方の藥局として多少に不拘御利用下さい。
平町古鍛冶町電話四四番
阿康藥局

素晴らしい乗心地の!!!
三十五年式流線型新車が参りました
是非御試乗御利用の程を御願申します
平二
三井タクシー
電話六八五番

製氷おた福豆
アイスクリーム あぶきアイス ミルクセーキ
クッキー ソーダ水 氷あぶき ソーダ水色々
冷コーヒー みつ豆
御土産にクリームもなか
ほどよく香りのよい
宇治名産氷ひき茶を
初めました。何卒御試食下さる様……
平三警察署裏通り
魚清食堂
電話六六二

月曜是非

選舉肅正を説く

先般、平第三校に開かれた濱三郡の選舉肅正講演會に獅子吼した丸山前警視總監を目して、某人曰く「彼に選舉肅正を説く資格なし」と。その理由は、日鮮融和運動の腹心の乾兒たる朴春琴氏を代議士に當選させる爲め、警視總監の権力を利用してあらゆる選舉干渉を行つた前科があるといふにある。

もとより個人の私語を此處に取上げる事はどうかと思ふが、多少なりとも斯かる偏見が人々の頭腦を支配して居る事は、聽て肅正運動の意義を没去する懼れもあるから、一應此事を吾人の考察に加ふも、敢えて徒勞でないと思ふ。

丸山氏に干渉等の非常手段を弄した事實の有無は知らない、而し假りに左様な事實があつたとし、肅正を説く資格がないとは斷定出来ぬ。何故となれば、從來の選舉界に關係を持つた者にして、恐らく、天地に俯仰して恥じなき者が一人でもあらうか、大なり小なりの差こそあれ、歴に傷持つ点に於て、大抵は同じ穴の狸ではなかつたか？

信ずる者があれば、それは、選舉運動に全然無關係なものか、又は免れて恥なき者かの二つに一つである。

酒の害は、酒を飲む者に於て、始めて是れをよく知り得るものであつて、未だ一回も酒盃を手にせぬ者の説く禁酒論は肯げいに當らぬ節が多分にある選舉淨化もさうである、選舉の爲めに苦しい思ひでも、甘い思ひでも、一度その泥沼に足を踏み入れた體驗を経て、初めて悟る處のあつた、所謂苦勞人の言こそ、吾人の肺

打撃は縣下第一

惜敗の警中軍歸る

中等野球東北豫選準決勝に惜敗した警中選手は今夕五時卅分平着列車で歸平した。對福師の戦績左の如く

警中	37	8	1	0	2	4	7
福師	37	5	1	4	6	4	3

數打打壘振死策点 打安犠盜三四失得 福師の鐵腕吉田投手より強引に安打八個を奪ひ然も四對二とリードし一時福師の心膽を寒からしめた警中の健打は觀衆齊しく打率縣下一の折紙を付けたが不幸守備力の欠陥より惜敗を招きファンをして切齒扼腕せしめて居る、因に警中安打内譯は左の如くである

- △二壘打長瀬△單打矢代
- 佐藤 阿部 草野 長瀬
- 上坂 秋山各一本

肺を突く力がある

また苦勞を嘗めればこそ事にもなる、此の故にこそ丸山氏の言や善しと思ふ。

我國の選舉界は、官權と候補者と、有權者との三者が一体となつて、遂に今日の暗黒街化せしめた、この点は三者均等の責任がある、然らば肅正の實を擧ぐるに、三者連帯の力を以つて當り、此の社會惡の絶滅に挺身奮起すべきであつて、肅正を説くは、單に資格の問題ではない。

平町壯丁

昨日から検査

本年度徴兵適齡の平町壯丁

僕等は海の子 (1)

平第一四倉臨海學校通信

(八月一日 晴)待ちに待つた臨海學校も愈々今日からです、昨日から心配した天気も注文通りの好天気。汽車は八時二十分發、お客さんが餘り多いので三等車は満員。それで際長さんのお世話で二等に乗りました。僕達は「とくべつたいぐう」だとみな嬉しがりました。

は本籍百五十九名、寄留四十五名、計二百四名あり昨日から學術試験及び身體検査を行つてゐるが明六日終了の筈

七彩美しく……

七夕の夜の盛觀

本町通り人に埋る

眞夏に加へた夢幻的景物

平町の七夕祭は本町通りが各店思ひ思ひに飾り物に趣向を凝らし近年非常に盛んな催しとなつて夏の行事の景物に數えられる、本年は殊に一層の張り込み様で本町通りの兩側には飾り付けの笹竹がトンネルを作り七彩美しいテープの吹き流しや短冊が行人の頭上に垂れ下つて一種の夢幻的な盛觀を呈し昨夜は近在からの見物人も雪崩れ込んで三丁目の街路の如き全く人で埋り夜遅くまで賑ひが果てなかつた、尙飾り付けは折角立派に出来て居るので明晩迄取外さずに置くといふ

警崎校同窓會

警崎の講演があつた

村尋常高等小學校にては本日午前十時より同窓會を開き午後二時から川崎本社長

四倉方部國調

四倉 外大野、大浦、草野三ヶ村

た。A組泳げるもの、B組やう／＼浮べるもの、C組浮べないもの。

五時半、はじめての楽しい夕御飯。山盛りの御飯から湯気がぼわ／＼大變うまさうに立つてゐました。それで僕達は一齊に唾を飲込みました。おかつはお刺身「いたゞきまああす」おいし

無事四倉到着、午後海岸に出ました。焼けつく様な砂の上で元氣出してラヂオ体操をしました。エチオピアの兵隊さんは矢張り偉いなと思ひました。海に入りました。こゝは海氣館前の防波堤の内で大變よい場所です。水は思つたより暖かでした。泳ぎ具合によつて三組に分けまし

國勢調査員の辭令傳達式は來る八日午前八時より四倉小學校に於いて行はれ式後

夏に鍛へる

ラヂオ体操盛況

昨年よりも参加人員増加

夏に鍛へる平町々民のラヂオ体操は清新な朝の大氣を吸つて潑刺と躍動を見せてゐるが第五日目である本日迄の参加人員は一般四千四百八十六名、兒童一萬八千九十六名の多數に及び昨年同日と比較し三千五百名の多數である

舊盆迫り

方面委員協議

平町は本五日午後一時から平町は本五日午後一時から

んでした。今朝は皆揃つて奉安殿に敬禮しそれから平の方を向いて挨拶しました元氣な聲で「お父さん、お母さん、お早うございます」

午後の泳ぎは雨にじやまされました。早く切り上げお湯に入りました。夜は茶話會。御馳走はカルケットおせんべい、ミゼット、お話をハハモニカで大變にぎやかでした。

(八月三日)今日は曇つたり照つたりして、にくらし天気でした。午前中、昨

牛馬も……

暑さに閉口

酷暑の襲來は牛馬にとつても大恐慌で日射病、熱射病等で倒れる牛馬は今が一番多いと云ふので石城産馬畜産組合は近く豫防心得書を全郡の飼育者に配布すると

日と同じでしたが泳ぎの後、六年と五年としてキックボールの試合をしましたこれは同点であひこでした午後の泳ぎの時は級をきめました。はつきりしたこと

は明日解るさうです。級の印には、美しい鉢巻をくれると先生がおつしやいました。今日のおやつはパン、まんぢう。

だん／＼体が焼けてお湯に入るのが嫌になりましたぢり／＼しみすから直ぐ上つてしまひます。

追跡逮捕された

大膽な自動車泥

昨日捜査網を潜つて横行

他人の名を騙る前科二犯

▽……スピード逃走振り

既報一平町三丁目片澤自動車店の自動車窃取犯人自稱安達郡大木村生れ佐藤興造(三)は既記の如く白河町で自動車を置き去りして後行衛が全然判らず平署は躍起となつて捜査中去る三日同人が

が同町を捜査すると同人は既に平町を経て小野新町方面に逃走した模様なので直に同刑事はオートバイで追跡、同日午後六時頃小野新町字谷津地内

小名濱

方面で警視廳のナンバーを付けたセダン車を運轉して居るのを發見した者があり早速平署に急報したので昨日大谷刑事

東京に飛び

又も自動車窃盗

夫れに乗つて舞ひ戻つた

別稿一佐藤興造になりすました清野は去る三十日白河町で片澤自動車店のフォードツローリング車を持ち棄てるや汽車で東京に飛び日暮里一丁目田中自動車店の知人を訪ねて同店運轉手佐藤信義(三)の乙種免許を窃取し八月二日日本郷區湯島天神町の明神タクシーに住み込み警視廳一九七四号フォードセダン車を操縦して再び逃走途中流し圓タクを稼ぎ

湯の岳へ

平第三の生徒

平第三小學校の湯の嶽登山團は明六日午前七時驛前集合出發するが参加者は尋五以上の希望児童で山頂より郷土を景観指導し高野嶺泉

酒豪の

老人が割腹

息子に意見され

面目がないとて

湯本町字三箇一三九旅館越後屋事榮太郎實父鈴木慶次郎(三)は昨日午前八時頃自宅の四疊半に端座し双渡八寸の出刃鉋で腹を横一文字に掻き斬り苦悶中を家人が發見し應急手當を加へたが生命危篤である、原因は老人に似合ぬ大酒家にて前夜も遅く泥酔帰宅し息子に意見されて面目なく此の傷を負はした

刎ね飛し

二週間の傷

内郷村字新町自動車運轉手和田寅之(三)は昨日午後四時半頃バスを運轉し湯本町上町地内を疾走中同町關川ミヨ子(三)を前車輪で刎ね飛ばし全治二週間の打撲傷を負はした

夫婦喧嘩から

鐵道で自殺

氣弱な五十男

昨日午前五時半頃神谷村大字中神谷地内常磐線内に

明日のラジオ
六日
今晩も日明も北
東の風曇小雨

今晩の部
後六、〇〇 子供の時間
山の便り水の便り 北海
道賑振支笏湖より中継
後六、二五 夏期特別講座
「春日神社」宮司江見清風
後七、三〇 舞臺劇「清水
一角」市村羽左衛門一座
後八、四〇 小唄 岡田米

明日の部
後九、三〇 時報 ニュー
ス 氣象通報 番組豫告
後六、三〇 速成フランス

會
後六、二五 青年の時間
「青年吉田松陰」廣瀬豊
後七、三〇 趣味講演「黒
潮躍る熊野灘の海底を探
る」河村兵三
後八、〇〇 獨唱 井崎嘉
代子 永田絃次郎
後八、三〇 「俊成忠度」喜
多六平太他
後九、〇〇 漫才「粹くら
べ三筋の糸」松本庫吉
杵屋芳奴「夏は山から海
邊から」八丈竹幸 浮世
亭出羽助

インチキ小判を

賣つた犯人

共犯者が二名

平署の刑事に捕る

去る二日午後二時頃平町三丁目星野時計店に純金だと稱し小判を賣付けに来た東京市蕨原區武藏小山町一五八古物商岩波輝安(三)は其際店頭に居合せた東京市四谷區長住町古物商神山一郎方店員李南匡(三)に一枚九圓五十錢で賣付けたが其後銀に鍍金したインチキ小判と判り平署に訴出た爲め同署では各方面に手配中の處昨日自動車窃取犯人逮捕の爲め小野新町に出張した平署大谷刑事が同町徘徊中の岩波を首尾よく取押へ平署に連行取調への結果同人は二名の同僚と共に縣下各地でインチキ小判を賣つて居た事自白した

少年を轢き逃げ

捜査の結果修繕屋の雇人

無免許で疾走

高久村大字下高久高木肇(三)君は昨日午前八時頃平町世界館前で後方から疾走して来たバスに轢き倒さ

湯本朝顔品評

去る一日から開催された湯本町の大輪朝顔品評會は十日迄毎朝六時から同十時まで六寸以上の優秀花が研を競ふて參觀者の眼を樂ませて居るが陳列場左記の如くである

湯本公會堂 八仙市場
坑務所下 入山小學校下
平第三同窓會 平第三小學校卒業生同窓會は今日午後一時より母校講堂で催された

湯本の銃剣道

湯本町在郷軍人分會は来る廿日午前十時から同小學校庭に於いて銃剣道大會を催す由

電工が感電死

飯野村谷川瀨地内東部電力平變電所電工神原義一(三)は昨日午前九時頃開閉器を修繕中高壓線に觸れて感電慘死した



明治太平記

(上巻及上巻)

(作) 寺島征史

第九十三回

葛籠空(十)

「黙れ！ おれはそのやうなことを命じはせんぞ」

ウエルズは人足體の男に「つかみかゝらうとした。」

ウエルズ君、英國紳士の體面をけがすやうなことをしてはいけん」

パークスはげだもの、本性からやつと英國紳士にかへり、落着拂つてウエルズを制した。そして

「とにかく、ウエルズ君、今日午後ヴィクトリア丸は出帆する、北京へ赴任なさい」

ウエルズは公使を睨み返した。

「わしは断じて……」

「なに？」

「断じて、北京へなぞ行くものですか」

やけに床を蹴つた。

「わしの命令……いや大英國皇帝の御命令ですぞ」

「いや、たとひ皇帝の御命令であつてもわしは断じて辭退する」

パークスはそれをきくと大きく笑つた。

「ハッハ、ハ、ハ、たかゞ女一人のために大切な任務を、紙屑のやうにすて……」

「もちろん」

「そして日本につて、あくまでもおれからおとわを奪はうといふのか」

「いや、それどころかパークスさん、あなたの公使と

表しやう」

ウエルズは憤然と踵をかへした。

「待て！ 賣國奴！」

パークスの眼は怪しく光つてをる。

「何だ？」

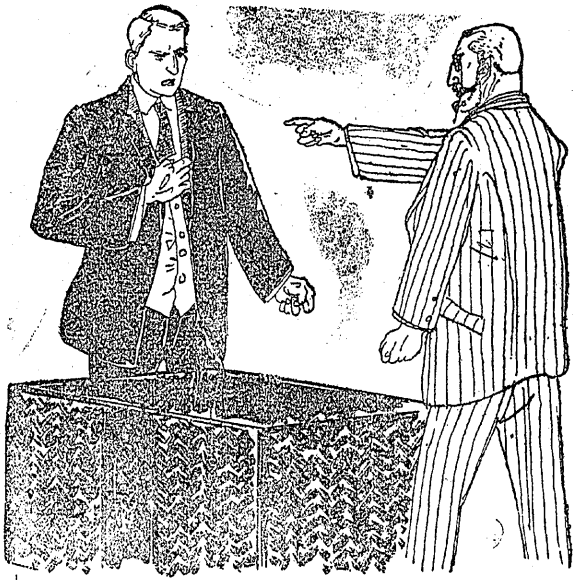
「それは女にひとしい行爲だぞ、男なら……英國の輝かしい武官なら……」

「どうしたと？」

「男らしく決闘しろ」

パークスは大きな手でおのれの胸をたゞいてみせた

それをきくとウエルズは、大きくむしろ朗かに笑つて



しての地位と名望とを踏み

にじつてみせます」

「おう、おれの地位と名望を……なるほど、やつてみるがよい」

「パークスさん、あなたが日本政治家大久保利通、伊藤博文等を……のかし日本を英國の屬領としやうとする、その大野心を天下に公

みせた。

「ハ、ハ、ハ、ハ、パークスさん、一國の公使ともあらうあなたが、たかゞ女ひとりのことで決闘したとあつては……ハ、ハ、ハ、ハ、

「いや」

「決闘なさらずとも、わたしの反意をじわ／＼とあなたに迫る敵……爲をうけて

くださるとよい」

「おれの地位と名望を踏み

にじらうといふ、き、君の」

「さうです。英國人の執拗さで」

パークスは海の見える窓をじつとみつめた。

「そして、パークスさん、おとわがだれのものになる

御新盆の御用意下サイ

御戒名入提灯…… 特製秋草。蓮花

其他御コノミニ依リ スソ模様入レ

岐阜提灯各種……

カナラズ良ク安ク御願ヒ致シマス。是非御下命下サイ

平四丁目 スガノヤ提灯店 電 9 5

店主	が	店員
を	連	れ
か	れ	る
正	シ	イ
正	シ	イ
正	シ	イ
酒	場	茶
食	堂	茶

平・田町
レストサロン
電二五三番

かを……」

ウエルズも海と空の朗かさをながめていつた。

「あくまでも、ベッキン赴任を拒絶するか、君は……」

「断じて」

「よろしい」

海の用品特賣

ウキ袋……三十銭ヨリ

ゴム帽子……六 銭ヨリ

海水着……二十七銭ヨリ

三 大 黒 屋 電116

家庭服と子供服特賣

大人服……四十五銭ヨリ

子供服……二十五銭ヨリ

三 大 黒 屋 電116

御中元贈答用品特賣

タオル箱入ハンカチ箱入

シャツ箱入。ネクタイ。ワイシャツ

商品券 一圓ヨリ

三 大 黒 屋 電116

外科

門 專 X
科 線 光

上田外科病院

平町 南町
電話一二九番